

Gallery PARC

木内貴志

シリアスとユーモアのコンビネーション。木内貴志の「二枚目半」のアートへの愛



Profile 1973年、京都市出身。成安造形大学 造形美術科造形表現群洋画クラス研究生終了。1997年初個展。コンスタントに作品発表を続け、私財を投じた初キュレーション展「放課後の展覧会」(2009)は大きな評判をよんだ。
http://www.kiuchism.com/

京都を拠点に、現代アートシーンでユニークな立ち位置をキープしながら作家活動が続けてきたアーティスト、木内貴志が Gallery PARC に初登場する。アートと聞くと、とすれば「難しい」と思われがち。木内貴志の作品のユニークさは、アートを観る人に「難しい」と思わせてしまうポイントをわざわざクローズアップ。そこに、ユーモアを交えて突っ込みを入れ、笑いとともアートに対する“ココロの凝り”をほぐしてくれるかのような二枚目半のスタンスにある。

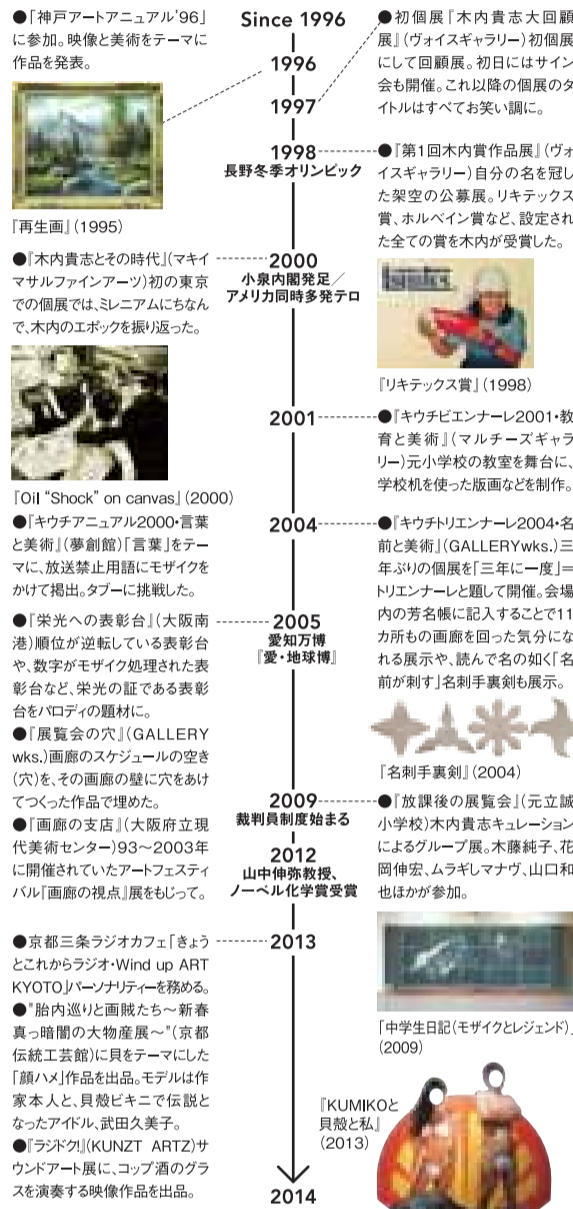
木内貴志が京都の美術大学に進学した1990年代初頭は、ダムタイプやヤノベケンジ、やなぎみわなど、京都を拠点にするアーティストたちが脚光を浴びていた時期。アーティストを目



「断固反対」絶対反対」(キウチアニュアル 2000・言葉と美術)
「教育と美術と」(キウチビエンナーレ 2001・教育と美術)
「画廊巡り」(キウチトリエンナーレ 2004・名前と美術)
「ウコンスケル」(2012)

指していたものの、木内にとってクールでコンセプチュアルな現代アートは、「好きだけど、入ってゆけない」感じの世界だった。この、屈折したアートへの思いを、ちょっと茶化してやることで表現したら? こうして、ユーモアと風刺のこもった木内貴志のアートの作品世界が生まれた。「僕の作品は、『一体とんち話』のようなもので、敷居の高いアートのイメージと、日常とのギャップをバラしてしまうんです」。その滑稽さに観客は「クスッ」と笑って、気がつくくとアートとの距離が近くなっている。木内貴志の作品にあるものは、憧れの女子のこゝろをついついからかってしまう小学生のような、アートへのビュアでシャイな思いだ。

History of Kiuchi ~木内貴志の歩み



「続・木内貴志とその時代～さようならキウチさん～」
●Gallery PARC 2014年3月21日(金)～4月6日(日)
Gallery PARCでは、新作を集めた賑やかな木内ワールドを見せてくれる予定。

Trend News

ANREALAGE

「大きさ、小ささ」の概念をゆさぶる、コンセプチュアルなアンリアルエイジのショー

これまでも、服の骨格をテーマにしたコレクション、光によって色が変わる服を発表するなど、服の可能性に挑戦してきたファッションブランド、アンリアルエイジがまた新しい世界を見せた。ANREALAGE 2014 S/S COLLECTION のテーマは「SIZE」。服と人の身体の関わりで、もっとも大きな要素のひとつでもある「サイズ」。その概念をゆさぶる試みがランウェイの上に展開された。ショーの前半には大きさの違うストライプやチェック、千鳥格子のドレス、さまざまなサイズのドレスを重ね着したモデルが登場。そして体型の異なる3人のモデルが、自動的にドレスのサイズを縮ませてフィットさせるシーンが、観客の注目を集めた。デザイナーの森永邦彦は、「サイズが着る人を限定することなく、人が着たいサイズで服のサイズを変え服を目指した」という。大きいと小さいを分ける境界線

はどこにあるのか。人が服に寄り添うか、服が人に寄り添うか。身体と服の関係性を問うコレクションとなった。

http://www.anrealage.com/



内部に張り巡らされた糸が収縮して、丈や身幅、袖丈などを調節できる仕組みを持った服。サイズの変化によって生まれるギャザーやドレープによって、デザインも変化する。



Music Pick up

kaho

伝説のアイドルの音楽的才能を受け継ぐ14歳のシンガーソングライター kaho

昨年11月にリリースされたデビューシングル「Every Hero/Strong Alone」がフジテレビ系ドラマ「ミス・パイロット」の主題歌に抜擢され、話題をさらっている14歳のシンガーソングライター、kaho(かほ)。「80年代のトップアイドル河井奈保子を母に、恵まれた音楽的環境の中で育った彼女は、6歳から母親を真似てピアノを弾き始め、自ら作詞作曲もこなすシンガーとして成長。十代にしてデビューを果たした。その歌唱力は、年齢を感じさせないエモーションさと力強さで聴く人を魅了する。現在は

オーストラリア在住。日本語のみならず英語の歌詞でも世界観を伝えられる、スケールの大きな才能を持った日本人アーティストの登場だ。



デビューシングル
「Every Hero/Strong Alone」通常盤
SRCL-8409 1200円(税別)
Profile 1998年11月1日生まれ。血液型はO型で歌座。デビューシングル「Every Hero」が、堀北真希主演のフジテレビ系ドラマ「ミス・パイロット」の主題歌に抜擢された。

Gallery PARC

GRAND MARBLE

Gallery PARC 2014年上半のスケジュール

- 1月18日(土)～2月7日(金) 大和美緒展
京都造形芸術大学院に在籍中の大和美緒による、大掛かりなインスタレーション展示。
2月11日(火)～2月23日(日) 愛知県立芸術大学グループ展
愛知県立芸術大学油画専攻の院生、OBを中心としたセレクション展。絵画から映像まで。
2月27日(木)～3月2日(日) 今あなたが「わたし」と指差した方向の行く先を探すとⅢ
京都を中心に活動をおこなうダンサー・役者・舞台技術者による展示。
3月11日(火)～3月16日(日) 京都造形芸術大学 通信教育部 大学院展
京都造形芸術大学通信教育部大学院で陶芸・染織分野を学ぶ学生と教員によるグループ展。
3月21日(金)～4月6日(日) 「続・木内貴志とその時代～さようならキウチさん～」→記事参照
4月8日(火)～4月20日(日) 夏池風牙展 KYOTO GRAPHIE 2014 参加展覧会
本年度2回目の開催となるKYOTO GRAPHIE 2014にあわせ、写真にまつわる展覧会を3本連続で開催。夏池風牙の作品は、写真を中心に空間を構成するインスタレーション。

Gallery PARCでは、学生や若いクリエイターへの発表場所の提供や広報活動の支援をはじめ、アート・工芸・デザイン・写真・映像・パフォーマンスなどの展覧会やワークショップの開催を通じ、京都の文化の継承と創造に向け、様々な支援に取り組んでまいります。

- 4月22日(火)～5月4日(日) 大洲大作展
KYOTO GRAPHIE 2014 参加展覧会
車窓にうつる風景の中に光のうつろいを捉えた代表作(光のシーケンス)を中心とした写真展示。
5月6日(火)～5月18日(日) 養生田兵吾展
KYOTO GRAPHIE 2014 参加展覧会
Web上に日々送られる事なく写真イメージを積み重ねていく(pile of photographs)に取り組み養生田兵吾の個展。
5月20日(火)～6月1日(日) 菅かおる展
京都を中心に活動する若手日本画家・菅かおるの個展。
6月3日(火)～6月15日(日) 大村大悟展
あらゆる素材の意味や在り方と向き合いながら「もの」を空間に配置する。Gallery PARCでは2回目となる大村大悟の個展。
6月17日(火)～6月29日(日) 林宗一郎展
能楽師・林宗一郎企画による、能面や装束の展示。

詳しいスケジュールはWEB参照
※展覧会のタイトルは、いずれも仮です。
また、内容・日時などは予告なく変更する場合がございます。
京都市中京区弁慶石町48(三条通御幸町西北角)三条ありもとビル
「ル・グランマールカフェ クラッセ 2F Gallery PARC」店舗内2F
Tel/Fax. 075-231-0706
11:00～19:00(金曜のみ20:00まで)月曜休
http://www.galleryparc.com/

NEXT BREAK Profile

Vol.4

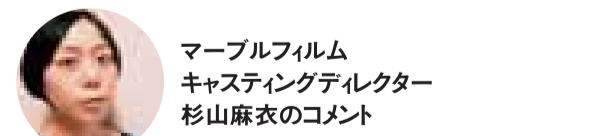
杉山麻衣さんが、いまイチオシの俳優をプロフィール。新しい才能をいち早くキャッチ!



坂口健太郎

ABOUT Kentaro Sakaguchi

大学に入学した時に知ったメンズノンノモデル募集に応募し、一躍人気モデルに。清潔感のあるスマイルで、しょうゆ顔よりさらにクールな「塩顔男子」という評判もある坂口健太郎。「写真からは柔らかいイメージで優しそう、と言われますが、実際に会うと男っぽいと言われます。自分では、ゆらゆらしているだけなのですが…」と、実は繊細なゆらぎや二面性を秘めた、奥深いキャラの持ち主でもある。モデルでのキャリアで「自分のことを見てもらえる時に、一番いい形で見せられるか、その切り替えのスイッチができるようになった」と、自分を表現することに少しずつ手応えを確かめてきた。そして2013年からCM出演を皮切りに、俳優としての一歩を歩み始めている。「演技を少しずつ始めて、まだ役者の“や”の字も分からないけど、できることは何でも吸収して、自分には何が出来るか



マーブルフィルム
キャスティングディレクター
杉山麻衣のコメント
以前から坂口さんが「MEN'S NON-NO」で見せる、シチュエーションごとの様々な表情を見ていて、「お芝居をしたらしいのにな」と思っていました。ワークショップ風景を拝見すると声もお芝居の動きもよく、そこに居るだけで目を引く静かな存在感があるので、映画監督に好まれるタイプではないでしょうか。とにかく様々な監督や演出家と出逢って欲しいですが、まずはそのままの坂口さんが垣間見えるような、等身大のキャラクターを演じて欲しいですね。
Profile 愛知県出身。主に映画や舞台のキャスティングを担当。マーブルフィルム公式HP http://marblefilm.jp/